

**湘南モノレールWEBマガジン『ソラdeブラーン』新連載
“湘南モノレール全線開通50周年記念連載・湘南モノレール全線開通までの全記録”
2020年3月1日(月)より連載開始いたします。**

湘南モノレール株式会社（本社：神奈川県鎌倉市 代表取締役社長：尾渡 英生）は、湘南モノレールWEBマガジン『ソラdeブラーン』にて、湘南モノレール全線開通50周年記念連載・湘南モノレール全線開通までの全記録”の連載を2020年3月1日（月）より“開始いたします。

WEBマガジン『ソラdeブラーン』は、2017年11月から連載を開始し、沿線にお住まいの方やご乗車したことのない方にも、湘南モノレールに乗りたくなる、より好きになっていただくよう、様々なジャンルの著者に寄稿いただき、鉄道としての湘南モノレール、沿線の魅力や不思議、楽しみ方を発信してきました。

湘南モノレールは、1970年3月7日に大船—西鎌倉間を開業。翌年7月2日に西鎌倉—湘南江の島間の全8駅が開業し、今年で全線開通50周年を迎えるにあたり、今年6月に50周年誌の発行を予定しております。

WEBマガジン『ソラdeブラーン』では、会社設立から開業時の建設の過程で起きた様々な出来事を中心に、全線開通50周年にちなみ、全50回の連載を予定しております。

詳細につきましては、下記のとおりです。

**湘南モノレールWEBマガジン『ソラdeブラーン』新連載
“湘南モノレール全線開通50周年記念連載・湘南モノレール全線開通までの全記録” 概要**

連載開始日：2021年3月1日（月）より

連載日：毎週月・水・金曜日 ※祝祭日を除く

URL：<https://www.shonan-monorail.co.jp/sora-de-bra-n/50years/>

- 連載の主な内容：①モノレールが日本で注目されるようになった理由（予定）
- ②日本のモノレール第1号は、どの路線か？
 - ③海外からの技術導入と都市交通としてのデビュー
 - ④モノレールが湘南エリアに建設された理由
 - ⑤京急電鉄の経営参加がモノレール計画の絶対条件に
 - ⑥鉄道免許取得における縦割行政の高い壁
 - ⑦長かった建設着工までの1年半
 - ⑧山あり谷ありカーブあり。難航した路線選定
 - ⑨モノレール建設工事の工程をビデオで再現
 - ⑩開業直前まで紛糾した大船駅周辺の用地問題
 - ⑪世界初となった懸垂型モノレールのトンネル工事
 - ⑫大船—西鎌倉開業当時の大船駅周辺の様子
 - ⑬何度も変わった終点駅の位置と海岸への遠い道のり
 - ⑭難工事の連続だった西鎌倉—湘南江の島
 - ⑮ついに全通！大船—湘南江の島
 - ⑯湘南モノレール建設工事の全体像と建設の意義

著者プロフィール：森川 天喜（もりかわ あき）



フリージャーナリスト。現在、大磯町観光協会理事、鎌倉ペンクラブ会員。旅行、鉄道、ホテル、都市開発など幅広いジャンルの取材記事を雑誌、オンライン問わず寄稿。テレビ・ラジオにも多数出演。昨年（2020年）1月には、初の小説作品『ホワイト・ライオン』（幻冬舎）を上梓し、各種メディアで取り上げられる。同年3月、東洋経済オンラインに執筆した湘南モノレールの取材記事も大ヒット。その後、コロナ禍の中「湘南モノレール全線開通50周年記念誌」の執筆・編集に取り組んでいる。



ソラdeブラーン 湘南モノレール全線開通までの全記録

【本リリースに関するお問い合わせ・ご取材依頼】

湘南モノレール株式会社 広報課

〒248-0022 神奈川県鎌倉市常盤18番地 TEL:0467-45-3342 FAX:0467-44-5799

E-mail: kunio_hanaka@shonan-monorail.co.jp

公式ホームページ: <http://www.shonan-monorail.co.jp/>